



7月の出前授業の紹介 Vol.1

6月の湯本中学校と同様に、南城中学校・石鳥谷中学校の2校が、8月10日の「戦没者追悼・平和記念式典」に奉納する千羽鶴作成の意義づけとして「花巻空襲戦災の日」を学習する出前授業を実施しました。

7/4 出前授業の様子(南城中)

南城中学校では、全校生徒が、スライドを使った解説を聞いた後、体育館の壁際に展示された資料を自由参観しました。

カテゴリー名
「戦時中の暮らし」



これは「実物資料を4つのカテゴリーに分け、事前に送られてきた写真資料から、特に観察したいものを考えておき、当日はそこを中心に自由参観する」という方法で、「人数が多くても実物資料をぜひ見せたい」という担当の先生の思いをもとに、打ち合わせで考案した方法です。

同「花巻空襲」



生徒は100人程度ずつ前後半に分かれて観察しました。カテゴリー名を担当の先生に印刷・掲示していただいたので、生徒はそこをめぐり移動して観察できました。多少の渋滞は起こりましたが、大人数でも実物を見せたい場合には有効な観察方法だと思いました。

代表生徒の感想（一部省略） 「(略) 今まで知らなかった花巻空襲を知ることができ、戦争の悲惨さや戦時中の様子を肌で感じることができました。また、当時の状況に触れることで、戦争や平和について考えを深めることができました。

花巻市民として約70年前に起きた花巻空襲のことを忘れないようにし、戦争に対する知識を深め、もっと考えを深めていきたいと思います。(略)」

博物館での学年親子行事の紹介



火おこし体験の様子

7月1日(土)の午前中、矢沢小学校3学年PTAによる親子レクが当館で行われました。「火おこし」「弓矢的あて」「常設展示見学」の3つをローテーションして体験しました。

100人を超える人数での活動だったので、難しい部分もあったと思いますが、PTA役員の皆さんの指示がよく、ケガもなく楽しく活動できました。

【裏面に続く】

7月の出前授業の紹介 Vol.2

石鳥谷中学校は、時間が30分と限られた中での実施でした。全校生徒を対象にスライドによる解説だけに行いましたが、全校生徒のみなさんは集中して解説に耳を傾けていて、立派でした。

7/11 出前授業の様子(石鳥谷中)



代表生徒の感想(一部省略) 「(略) 今回の授業を受けて、花巻空襲の時に起こった悲惨な出来事や、戦時中の状況を知ることができました。そして、そのことを知って、後世に語り継いでいって絶対に風化させない、という思いが強くなりました。また、当時の状況を知ることができる貴重な資料と合わせて学習できたので、詳しいところまで知ることができました。(略)」

湯本中や南城中と同じく「平和記念式典の千羽鶴作成」前にこの授業をすることが有効だと感じさせてくれる感想です。他校でも、次年度活用の検討をお願いします。

博物館での 中学生職場体験学習の紹介

7月4日(火)～7日(金)の期間に、市内4中学校(西南・宮野目・花巻・矢沢)の生徒が、博物館で職場体験学習を行いました。



受付に関わる作業

また、7日は午後から厳しい暑さが予想され、冷房の効かない部屋での作業は熱中症の恐れがあるため、急遽、古文書講座を行いました。学芸員が準備した古文書を「くずし字辞典」で調べて読み取るという体験でした。

はじめのうちは、全く読めなかった古文書が、学芸員の説明を聞いて、調べ方にも慣れてくると、だんだん読めるようになってきて、貴重な体験になったようです。

体験内容は、受付に関わる作業・学芸員に関わる作業・古文書講座でした。学芸員に関わる作業には、書籍の整理や収蔵資料の写真撮影などの、博物館資料に関わる様々なものがあります。生徒の皆さんにはそれらの作業の一端を体験してもらいました。いずれの作業も丁寧に真剣に行っていました。

古文書講座

